



田上町 議会だより

第120号

■平成30年10月26日発行



▲ 秋空の下、スタート！（第59回佐藤杯争奪町内駅伝競走大会）

9月定例会	P 2
平成29年度決算額	P 3
決算審査特別委員会	P 4～6
付託案件審査報告	P 7
請願・陳情・発議	P 8
一般質問（9議員）	P 9～17
所管事務調査報告	P 18～19
一部事務組合報告・交流会館等建設調査特別委員会	P 20
全員協議会	P 21
インタビュー「この人にお聞きしました」／編集後記	P 22



田上町の「今」と「これから」をお伝えします

- ・平成29年度一般会計・各特別会計
歳入歳出決算は原案通り認定
- ・学校空調設備設置に関する決議を可決



▲人事案件の起立採決

議案

【人事案件】

・選挙管理委員会委員

鶴巻 洋子氏 (再任)

中澤 昭 氏 (新任)

涌井 和夫氏 (新任)

入倉 玲子氏 (新任)

・同補充員

山本文一郎氏 (再任)

佐藤 誠 氏 (新任)

安中 誠 氏 (新任)

熊倉 進 氏 (新任)

任期は9月30日から4年間です。なお、選挙管理委員に欠員が出た場合は、補充員名簿の順に補充されます。

・教育委員会委員の任命

山田 正夫氏 (新任)

任期は前安中教育委員の残任期間の31年9月30日までです。

・固定資産評価審査委員会委員の選任

今井 五男氏 (再任)

任期は9月27日から3年間です。

【30年度補正予算】

・一般会計

反対意見もありましたが、賛成多数で原案可決しました。

・下水道事業特別会計

・国民健康保険特別会計

・介護保険特別会計

3議案とも原案可決しました。

【29年度決算審査】

・一般会計

反対意見もありましたが、賛成多数で原案通り認定しました。

・下水道事業特別会計

・集落排水事業特別会計

・国民健康保険特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・訪問看護事業特別会計

・介護保険特別会計

・水道事業特別会計

各特別会計7議案は全会一致で認定しました。

【追加議案】

・学校空調設備設置に関する決議について

全会一致で原案可決しました。

平成29年度田上町一般会計歳入歳出決算額

歳入47億2,368万1千円 - 歳出44億9,068万9千円 = 差引金額2億3,299万2千円

町民1人あたりの金額は、平成30年3月31日の人口11,916人で計算しています。



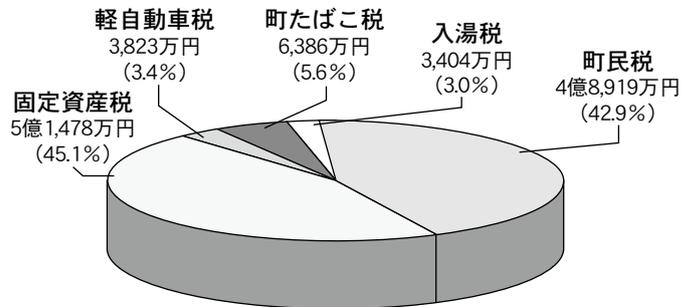
歳入

科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民1人 あたり (単位：円)
1 町 税	1,140,093	11,551	95,677
2 地 方 譲 与 税	72,345	△ 247	6,071
3 利 子 割 交 付 金	2,108	984	177
4 配 当 割 交 付 金	5,055	1,617	424
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,869	2,863	409
6 地 方 消 費 税 交 付 金	190,139	3,636	15,957
7 ゴルフ場利用税交付金	20,454	△ 514	1,717
8 自動車取得税交付金	19,896	7,149	1,670
9 地方特例交付金	4,351	67	365
10 地方交付税	1,671,188	715	140,247
11 交通安全対策特別交付金	1,177	△ 315	99
12 分担金及び負担金	67,358	3,736	5,653
13 使用料及び手数料	15,087	26	1,266
14 国庫支出金	387,678	30,660	32,534
15 県 支 出 金	299,169	22,279	25,106
16 財 産 収 入	43,802	32,235	3,676
17 寄 附 金	13,026	514	1,093
18 繰 入 金	127,325	113,091	10,685
19 繰 越 金	197,180	52,828	16,547
20 諸 収 入	203,204	△ 69,002	17,053
21 町 債	238,177	33,598	19,988
歳入合計	4,723,681	247,471	396,415

歳出

科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民1人 あたり (単位：円)
1 議 会 費	76,096	△ 132	6,386
2 総 務 費	546,720	74,752	45,881
3 民 生 費	1,374,249	62,999	115,328
4 衛 生 費	348,742	△ 27,253	29,267
5 労 働 費	12,639	558	1,061
6 農 林 水 産 業 費	221,528	12,373	18,591
7 商 工 費	338,974	77,401	28,447
8 土 木 費	562,260	117,024	47,185
9 消 防 費	213,923	2,172	17,953
10 教 育 費	292,985	△ 41,285	24,588
11 公 債 費	464,996	△ 104,527	39,023
12 災 害 復 旧 費	37,577	37,577	3,153
歳出合計	4,490,689	211,659	376,862

町税の内訳



平成29年度田上町特別会計歳入歳出決算額



単位：千円

区 分	歳 入	歳 出	差引額
下 水 道 事 業	374,094	361,622	12,472
集 落 排 水 事 業	73,799	69,150	4,649
国民健康保険	1,584,054	1,481,234	102,820
後期高齢者医療	119,682	116,437	3,245
訪問看護事業	55,987	38,647	17,340
介 護 保 険	1,309,490	1,244,529	64,961

単位：千円

区 分	歳 入	歳 出	差引額
水道事業会計	収益的収入	収益的支出	/
	231,704	245,661	△ 13,957
	資本的収入	資本的支出	/
	0	64,600	△ 64,600

決算審査特別委員会



▲池井委員長

▲高取副委員長

本委員会に付託された議案は、29年度の一般会計および特別会計の8議案でした。

29年度一般会計においては、まちづくりの指針となる第5次総合計画の実現を目標とし、重点プロジェクトに位置づけている事業を優先的・積極的に実施するとともに「田上町総合戦略」に基づき人口減少に対して具体的に効果の高い施策を集中的に実施し、新しいまちづくりの拠点として地域交流会館の建設工事に着手した年でした。

そのような背景の中、一般会計の歳入47億2368万1千円、歳出で44億9068万9千円、前年比歳入は2億4747万1千円の5.5%、歳出で2億1165万9千円の4.9%の増の決算でした。

今回の決算審査特別委員会は20年ぶりに町長が代わり、予算作成執行した町長と決算審査する町長が違うという特殊な状況でした。そんな中、就任間もない佐野町長は全日

程の審査に参加し（通常は最終日の総括質疑のみ出席）、すべての質疑を聴いていました。決算審査では102件の活発な質疑があり、7件の総括質疑が行われました。

決算審査特別委員会の討論および採決の結果、認定第1号29年度田上町一般会計においては下水道事業に関し反対討論があったものの賛成多数で認定。その他の認定第2号から認定第8号まで反対討論も無く認定されました。

最後に決算審査はその年度の事業実施の効果・課題、予算の執行結果のチェックをし、新年度予算編成に活かされるようにするものです。今回は佐野町長に事業提案、積極的な財政運営を求める意見も多くありました。

31年度に「いいまちづくり」が行われることを願って委員会報告といたします。

委員長 池井 豊

町長への総括質疑

質疑件数7件

◎財政指標（数）の評価と財政運営の考え方について

問 公債費率、将来負担比率を中心とした財政指標の改善が見受けられますが、財政指数の現状をどうとらえるか、また、今後の財政運営についての基本的な町長の考えを尋ねます。

竹の友幼稚園の正規職員と臨時職員の格差が問題となっているが、格差是正と適正人員の確保についてどのように考えるかを尋ねます。

町長 町債の償還や社会福祉法人の建設した特養老人ホームの償還金の負担が軽減したことからより財政指標が好転しています。今後はまちづくり推進事業の起債の償還や学校のエアコン整備、下水道事業の再開、公約の実現、防災行政無線整備など、中長期に係わる財政負担が予定されてお

り、決して財政的に余裕があるわけではありません。町の自主財源の比率をいかに上げていくかが重要であり、ふるさと納税もその一つとして推進したいと思えます。

幼児園職員の格差是正については重く受け止めており、十分検討して行きたいと思っています。

◎「人は宝、人は城！」職員の待遇について

問 町行政に従事する人々を正当に評価し、正規職員数に匹敵する非正規職員を雇用している現状を異常な事態ととらえるべきであり、その改善策について尋ねます。

町長 多種多様住民ニーズがある中、住民サービスの提供に対しマンパワーの確保は重要なことです。しかし全ての職員を正規採用することは、財政的に不可能であると思えます。限りある財源を基に住民福祉の増進を計ることが町

の最大の役割であり、事業の実施に当たっては、緊急性、必要性に応じ、重点的・効率的に職員を配置する必要があります。このようなことから非正規職員を一定数任用せざるを得ない状況です。

◎特定健診の受診率向上について

問 町民の健康寿命の引き上げや病気の早期発見、早期治療には健診の受診率を高めることが重要です。

特定健診の自己負担の引き下げ、または自己負担無料化について尋ねます。

特定健診の受診者を増やすためには、保健師の日常的な活動が重要であり、保健師の増員について尋ねます。

町長 特定健診については24年度より40歳から60歳の年齢層において、5歳刻みで基本項目を無料化しています。29年度の無料対象者の受診率は36.3%と決して高くはなく、

この結果からみても、自己負担額を無料化してもすぐには受診率の向上は期待できないと思っています。

保健師の増員についてはここ数年正規職員の増員を行っていますが、提案の取組を行うには更なる人材の確保が必要です。ここ数年の受診率が向上している結果から、31年度からは特定健診に関わる診療情報を提供してもらう医療機関の拡大、特定健診対象年齢の拡大、受診率向上、受診しやすい環境の整備、自己負担額の無料化を検討して行きたいと思っています。

◎ダイオキシン問題について

問 清掃センターの煙からダイオキシンが検出されたと報道されましたが、現状の年1回の県の検査だけでは不十分であり、町または消防衛生保育組合で月1回程度の検査を行うべきです。ダイオキシン検査体制、検査場所、異常時の対策について尋ねます。

町長 清掃センターの煙からダイオキシンが検出されたことについては、現状の年1回の県の検査だけでは不十分であり、町または消防衛生保育組合で月1回程度の検査を行うべきです。ダイオキシン検査体制、検査場所、異常時の対策について尋ねます。

ダイオキシン発生を防ぐには、塩素化合物を含むゴミを焼却しないことが重要であり、ごみ分別に対し消防衛生保育組合と町の取組について尋ねます。

町長 消防衛生保育組合を通じて、測定回数増や発生抑制のためごみの分別について協議を進めて行きたいと思っています。また町としてもごみの減量化や分別について研究し、啓発を進めて行きたいと考えています。

◎国民健康保険特別会計の黒字について

問 国民健康保険特別会計は1億円もの黒字で、かつ基金残高が2億円もあるのに国保税の引き下げを実施してこなかったのは、住民の負担感を認識できない体質だったとしか言いようがありません。新町政ではこのような体質を改善し、国保税の引き下げについて尋ねます。

町長 国民健康保険特別会計は1億円もの黒字で、かつ基金残高が2億円もあるのに国保税の引き下げを実施してこなかったのは、住民の負担感を認識できない体質だったとしか言いようがありません。新町政ではこのような体質を改善し、国保税の引き下げについて尋ねます。

町長 31年度の保険料率が、もう間もなく県から示されま

すのでそれを参考にし、決算見込みを立てるなどして、諮問機関である国民健康保険運営協議会の意見を聞きながら安定的な財政運営をしていきます。

◎竹林の整備について

問 竹林の荒廃が伝えられます。成長の早い竹は老化も早く、そのため定期的に間伐しないと筍は生えにくくなりま

す。田上の竹林の多くは傾斜地にあり、林道も整備されていないため、筍の採取や竹の間伐に多くの人力を必要としています。また生産者が高齢化し、後継者の手が無いのも事実です。里山の自然を守るためにも定期的に竹を間伐して行くことが必要です。

田上の筍の振興のため、林道整備についてどのように考えていますか。

また林道整備等の補助金に

ついてはどのように考えていますか。

町長

筍生産組合と㈱フイクスにおいて竹の間伐を行い竹炭、竹酢液等の生産を行ってききましたが、筍生産組合においては炭焼き窯の老朽化により活動を休止している状況です。今後の在り方等については、農商工連携協議会にて検討して行きたいと考えています。なお筍の生産のためには引き続き竹の間伐が必要であり、竹林が既存の町道、林道に隣接していることから新たな林道を整備することについては考えていません。

◎除雪対策と安心・安全な道路について

問 歩道の除雪基準の積雪20cmを見直し、かつ除雪機の台数を増やして歩道除雪を行うことについて尋ねます。

高齢者にとっては大雪時の除雪作業は大問題です。ボラティアもいますが、町で雪

下ろし隊を組織し、雪下ろしを行うことはできますか。

消雪パイプが整備されている路線でも大雪の時は、うまく融雪されていない場合があります。幹線道路に接続する町道では渋滞の原因ともなりますので除雪車の出動について尋ねます。

町長

町職員がパトロールを実施し、状況を確認して歩道除雪を行っています。なお除雪機の増台については考えていません。

高齢者の除雪負担の軽減については、現在どのような形で負担軽減ができるのか協議・検討している最中です。

消雪パイプ設置路線の除雪については、町職員がパトロールし、状況を確認し、機械除雪が必要な場合は、拡幅や排雪作業を行っています。

議会からのお知らせ

田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。QRコードからでもアドレスを取得できます。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>



社会文教常任委員会

(税、戸籍、国民健康保険、後期高齢者、介護保険、環境、福祉、教育、保育など)

総務産経常任委員会

(財政、消防、選挙、道路、上下水道、商業、観光、農業、議会など)

■主な議案内容

- ・加茂・田上病児保育園運営費不足による加茂市田上町消防衛生保育組合負担金の増額

■主な議案内容

- ・サル被害対策の費用を174万1千円増額
- ・温泉井戸点検委託料31万4千円追加

総務産経常任委員会付託案件審査

30年度田上町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出にそれぞれ284万2千8百円を追加し、総額を50億7163万円とする補正です。

歳入は、繰入金、繰越金、町債です。

歳出はまちづくり拠点整備事業のあじさいロード測量設計業務委託料の増額、サル被害対策の箱ワナの設置を11月末まで行うための報償費や餌代の需用費の増額、湯つ多里館の温泉井戸点検委託料などです。

30年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ78万円を追加し、総額を5億4024万8千円とする補正です。

歳入・歳出の増額は、雨水対策事業の地権者への説明会などの業務量の増加による職員手当が主なものです。

社会文教常任委員会付託案件審査

30年度一般会計補正予算(第5号)

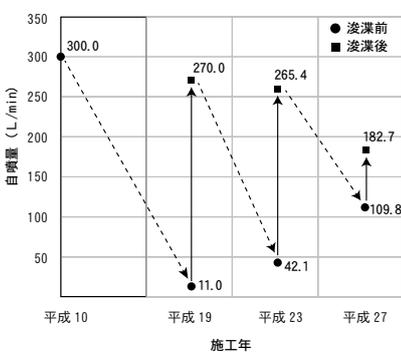
審査の結果は、いずれも全会一致で原案どおり、可決しました。

委員長 高取 正人

Check 議論の中身

Q 温泉井戸点検委託料の内訳は

A 温泉井戸は、含有成分が配管の内側に付着するため、定期的に除去作業を行う必要があります。前回27年10月の浚渫時に比べて、自噴量が減少しているため、次回の浚渫作業へ向けて調査するためのものです。



▲温泉自噴量の経年変動

30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に152万円を追加し、総額を13億152万円とする補正です。退職者医療制度該当者は当初58人と見込んでいましたが、

実際は16人であり、その差額分を社会保険診療報酬支払基金に返還するものです。

30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に2464万1千円を追加し、13億3964万1千円とする補正です。

介護予防ケアマネジメント事業委託料は、要支援の1、2該当者の件数増で不足が見込まれるための60万円の増です。諸支出金は、29年度の実績に基づき国、県への償還金です。いずれも原案可決しました。

委員長 松原 良彦

Check 議論の中身

Q 加茂・田上病児保育園は8月開所予定でしたが、運営費等の補正が出ましたが、開所の予定はいつですか？

A 10月22日から業務開始できるよう準備をしています。

請 願

番 号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 1 号	「学費と教育条件の 公私間格差是正にむ けて、私立高等学校 への私学助成の充実 を求める意見書」の 採択に関する請願	新潟市中央区弁天橋通1 丁目13番13号 私学会館内 新潟県私学の公費助成 をすすめる会 会長 中村 直美	浅野 一志	採 択	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣 県知事

陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 4 号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択 を求める陳情書	移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美

議員発議による発議案

番 号	件 名	内 容	提出議員	議決結果
発 議 第 3 号	学校施設の空調設備 設置に関する決議	児童生徒の安全を守る喫緊の課 題である猛暑対策のため、国、県 に対し学校施設の空調設備設置 に関し、必要な財源確保を求め強 力に要請を行うものとする。	川崎 昭夫	原案可決



▲発議第3号要請決議を説明する川崎議員



▲請願第1号の委員長報告



かわさき あきお
川崎 昭夫 議員

ここが聞きたい

一般質問

文化財の維持管理と介護施設の老朽化の対応は

町長：文化財の改修時期は、まちづくり財政計画では未定、老朽化施設は研究会を立上げ慎重に検討する

町指定文化財である椿寿荘の維持管理は

問 町指定文化財である「椿寿荘」は、今年築百年を迎えました。百年ともなると、老朽化が進み修繕が必要になってきます。このような木造建築は百年を目安に小規模修繕が必要と言われ、数年前から松井建設により、「先代が建てた建物を末長く大事に使って頂きたい」と言う思いで、修繕の提案がなされています。松井建設が調査した改修費の概算見積りは、5400万円と言われています。

前町長は、単年度ではできないので、今後のまちづくり財政計画に盛り込んで、改修時期を検討すると言われましたが、検討をされているのであれば尋ねます。

町長 町指定文化財である「椿寿荘」は、町の歴史ある建造物として後世に残すべき施設だと思います。町では必要に



▲築100周年を迎えた椿寿荘

じ、雨漏りや老朽化のための修繕を行ってききましたが、将来的には抜本的な改修も必要だと思います。現時点では、抜本的なスケジューリングを描くことが難しく、改修までは必要に応じて修繕を行っていきま

市町村に移行された、介護予防・日常生活支援総合事業の現状について

問 平成27年に介護保険法が改正され、介護予防・日常生活支援事業において、要支援1・2を対象にヘルパー及びデイサービスを市町村が主体となり、行うことが義務付けられました。

団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、高齢者が住み慣れた田上で生活できる体制づくりには、ボランティアなど担い手の確保が難しいとされていますが、現状はどうか尋ねます。

町長 生活支援体制整備事業が30年4月から始まりました。町内で実際にボランティア活動を精力的に行って頂いている方々を委員に委嘱し、高齢者のニーズを把握するとともに、どのようなサービスが必要か検討しています。6月と8月に会議を重ねることで、

担い手の育成や確保に努めます。

老朽化している介護施設の今後の対応について

問 康養園は施設の老朽化で職員から不安の声が聞こえます。ふれあいの家は昭和41年に建てられたもので51年経過しています。設備等に関しても多くの要望がでています。今後早急に対処する必要がありますが、町長の考えを尋ねます。

町長 かなり老朽化していることは十分承知しています。両施設は今後のあり方を含めて、近隣市町村の類似施設の状況など情報収集に努め、問題点の整備と同時に、町の財政状況を勘案しながら、研究会を立上げ、慎重に検討します。



ふじた なおいち 議員
藤田 直一 議員

継続事業はマンネリ化しやすい、常にチェックをしてもらいたい

町長：専門家のアドバイスを受けて、他市町村の状況を研究しながら検討します

町長 ①今後もふるさと納税ポータルサイトを活用してこれまで同様に寄付を募っていきます。②PR活動は町のホームページの掲載やポータルサイト活用のほか、東京都板

橋区成増地区の交流事業、ふるさと田上会などの機会を利用しています。③返礼品は23品目で、コメ、モモ、ナシなどの農産物、防災ラジオ、湯田上温泉の利用補助券などがあります。

町長 ①今後ふるさと納税ポータルサイトを活用してこれまで同様に寄付を募っていきます。②PR活動は町のホームページの掲載やポータル

橋区成増地区の交流事業、ふるさと田上会などの機会を利用しています。③返礼品は23品目で、コメ、モモ、ナシなどの農産物、防災ラジオ、湯田上温泉の利用補助券などがあります。

町長 ①三条市内の保内緑化園芸協同組合に病害虫予防、除草、剪定、施肥などの作業を委託しています。②毎年20本程度植栽してきましたが、株が小さく、雨が少なく根付きが悪く枯れることもあります。また、岩盤で表土が少なく、大雨で土が流されることもあり、思うように育たないのではないかと考えられます。樹木医などの専門家のアドバイスを聞き検討します。③看板等で老朽化しているものは、順次撤去、修理していきます。④団九郎小屋脇のトイレは、電気や水道が配管されていないため、抜本的改修は難しい。不具合箇所は必要に応じて修繕します。⑤善意の寄付については、今後の課題とします。

町長 ①三条市内の保内緑化園芸協同組合に病害虫予防、除草、剪定、施肥などの作業を委託しています。②毎年20本程度植栽してきましたが、株が小さく、雨が少なく根付きが悪く枯れることもあります。また、岩盤で表土が少なく、大雨で土が流されることもあり、思うように育たないのではないかと考えられます。樹木医などの専門家のアドバイスを聞き検討します。③看板等で老朽化しているものは、順次撤去、修理していきます。④団九郎小屋脇のトイレは、電気や水道が配管されていないため、抜本的改修は難しい。不具合箇所は必要に応じて修繕します。⑤善意の寄付については、今後の課題とします。

町長 ①最近自主防災組織が町内全地区で結成され、防災士が続々と生まれ、各地区で防災訓練が行われるなど、以前より防災意識が高まってきたと思います。②防災行政無線の導入は、瞬時かつ同時に町民に円滑な情報伝達をするため必要です。他市町村の状況等を研究しながら、整備に向けた検討を進めています。

町長 ①最近自主防災組織が町内全地区で結成され、防災士が続々と生まれ、各地区で防災訓練が行われるなど、以前より防災意識が高まってきたと思います。②防災行政無線の導入は、瞬時かつ同時に町民に円滑な情報伝達をするため必要です。他市町村の状況等を研究しながら、整備に向けた検討を進めています。

ここが聞きたい

一般質問

早急に小中学校に空調設備の設置を

町長：良好な教育環境を確保するためエアコン設置が必要だと思います



わたなべ かつえい 議員
渡邊 勝衛 議員

来年の夏前迄に小中学校に空調設備の設置を

問 今年の夏は、災害級の暑い夏でした。小中学校の普通教室には、空調設備がなく暑い教室での授業は苦痛です。教室は1階と比べて3階は6度高く、1階が35度になると3階は40度を超えます。新潟地方気象台発表の今年の7月平均気温は、31・7度で30年前にさかのぼると3年間の平均気温は、27・7度で今年の気温が4度高いです。

町長 設置にあたっては、学校施設環境改善交付金事業を予定。当町は平成29年度から建築計画の提出を始め、採択

を待っています。国も学校の空調設備について必要性を認めるとの報道もあり、採択の可能性が広がってきたと期待しています。

国道403バイパスの早期開通を

問 待ちに待った国道403バイパスが再来年春開通の予定となりました。町長も会社役員を歴任し、常にトップセールスを行ってきたかと思えます。通動されているかたは国道403バイパスの1日でも早い開通を待っています。町長も1日でも早い開通のためトップセールスを行うか尋ねます。

町長 小須戸田上バイパス開通予定は再来年の春。工事は順調に進んでいると聞いています。町の代表として、新潟県や新潟市、関係省庁に出向いて、予算付けや事業推進についての要望活動を行います。

平成31年度の地区要望に対し採択率を30%以上に

問 区長より地区要望を出しても町の対応が遅いとの話があります。本年度の地域整備課所管道路工事と総務課所管のカーブミラー設置・修繕、防犯灯の設置・建替の要望は全体でどのくらいありましたか。町道も舗装が傷んでおり、今後の対応について町長の考えを尋ねます。

町長 道路工事については要望282件に対し、採択は67件で採択率は23・8%。カーブミラーの要望29件に対し、採択は7件で採択率は24・1%。防犯灯は要望31件に対し、採択は8件で採択率は25・8%でした。いずれも職員が現地を確認し、緊急度や危険度を判断し優先順位を付けています。町道も舗装の損傷の度合いを確認して対応しています。

浸水箇所の対応は早急に

問 8月6日の集中豪雨で上野地区では20cmの床下浸水が発生しました。原因を確認し早急な対応が必要です。スピード感を持った対応を町長に提案します。

町長 現地を確認しました。雨水がスムーズに流れなかったようです。早急な解消へ新潟県と対策を協議します。

プールサイドは暑すぎる

問 今年のプールサイドは茶色のコンクリートの所で59度ありました。裸足では危険な状態です。問題はありましたか。町長に尋ねます。

町長 サンドルを履かせ、プールサイドに水をまくなどして対応しています。問題はありませんでした。

ふるさと納税の返礼品について

問 県内の平成29年度ふるさと納税寄付額は過去最高を更新しましたが、町は取組が弱かったようです。

総務省は、返礼品を3割以内と指示していますが、全国で3割を守っている自治体は少ないのです。返礼品をもっと素晴らしい品にしてはどうでしょうか。今後の取組やPR活動、返礼品について3項目伺います。

護摩堂アジサイ園について

橋区成増地区の交流事業、ふるさと田上会などの機会を利用しています。③返礼品は23品目で、コメ、モモ、ナシなどの農産物、防災ラジオ、湯田上温泉の利用補助券などがあります。

護摩堂山は宝の山、田上の観光資源と言われますが、維持管理が悪いのか、アジサイの株も年々減少しています。そこで5項目について伺います。①この3年間の委託業者、業務内容は。②減少する原因は何か。③登山道の標識、看板等に腐食で倒れているものがありますか。④団九郎小屋の下のトイレは汚れや臭気がひどい。リフォームの計画はありますか。⑤環境保全や登山道の維持修繕の為、登山者から善意の寄付を頂くことも検討してはごうですか。

防災無線について

問 今、異常気象は日本全国に広がっています。私達の田上町でも、いつ自



こしま けんいち 議員
小嶋 謙一 議員

産業の振興を財政の柱に据えている中で、産業の発端になる創業・起業家への受け皿はどうか

町長：起業、創業支援策の制度等の研究を行っていき、今後も必要な制度については検討し可能な限り支援を行います

ここが聞きたい

一般質問

創業あるいは起業家への支援は考えられないか

問 町長は産業の振興を財政の柱に位置付けていますが、町には創業あるいは起業に対する支援がありません。この点に関して尋ねます。

①地域の創業を支援する産業競争力強化法の活用に必要な、創業支援事業計画策定への取り組みについて尋ねます。

②無担保、無保証人の中小企業小口資金融資制度を新たに設ける考えはないか尋ねます。

③今春制定された中小企業振興基本条例の具体的な取り組みについて尋ねます。

④町商工会と連携し、事業開発や振興等を語り合う場を設け、施策に反映させる考えはないか尋ねます。

町長 ①県内では17市が創業支援事業計画を策定し、国の認定を受けています。町も起業、創業支援策の一環につながることから制度等の研究を



たかはし ひであき 議員
高橋 秀昌 議員

国保税の住民負担の軽減を 竹の友の臨時職員を正規職員に 学校にエアコンを

町長：新年度予算で可能なものは実現をめざしたい

国民健康保険について

問 国民健康保険は、社会保障の相互扶助による社会保障など聞いたことがありません。社会保障として位置付けてこそ、国の負担増を正面から要求できるのです。

町の国保税制は、2億円も基金を貯めこんでいます。住民の負担感を少しでも和らげるために一世帯1万円の引き下げを求めます。年間約1700万円で実現できます。

国保税の子供たちの均等割（人头割）の免除や削減を提案します。これは実施すれば子育て支援の一つになります。0歳児から19歳までを全額免除しても420万円あれば実現します。

問 予防医療の観点から特定健診の受診率を引き上げる必要があります。

これを実現するために大幅な保健師増が必要です。マン

パワーを重視して予防医療を充実させることで、医療費の削減にも大いに役立ちます。

竹の友幼稚園について

問 竹の友幼稚園では、正規職員の一方で保育教諭の資格がありません。臨時職員が多数います。全体としても非正規職員が正規職員より多数という状況を当たり前にして良いのでしょうか。

子どもが少なくなるからこそ、どこよりも優れた施策を行うことこそ、町民から強い支持を得られると思うのです。



▲竹の友幼稚園運動会の一コマ

あじさいロードはムダ使い

問 去る7月議会で佐野新町長は、「道の駅」事業は町活性化のために必要と答弁しました。どのように活性化すると施策をもっているのか伺います。

役場と羽生田駅を結ぶ道を、あじさいロードとして計画し、ペンキを塗り2900万円もの公共投資を行うような無駄遣いはやめるべきです。

学校にエアコン設置を確実に

問 町の3つの学校の普通教室の空調設備設置率は4%に満たないのが現状です。新潟県全体では、普通教室の設置率は13%です。県平均に大きく及ばない状況です。一日も待てない状況であることへの認識は？国県への積極的な要請活動や国会議員への働きかけが必要だと思えます。

として参考に致します。

夏休み中の児童クラブ利用は一日80人前後に達する。今後の運営について

問 児童クラブの運営について教育長に尋ねます。

①原ヶ崎交流センターの工事期間、夏休み中の実施場所はどこになるのか尋ねます。

②指導員から、あらゆる児童に対応できるよう更なる研鑽を望む声があり、指導員の技術向上支援について尋ねます。

教育長 ①今後は土曜、長期休業中も両小学校で実施する方向で考えています。現在両小学校の環境改善について具体的に検討を始めました。

②支援員の技術向上も含め、幼稚園の保育教諭や小学校教諭に講師をお願いして、特別支援が必要な児童の対応や見守りなどの研修を実施していきます。

経済振興には移住の受け入れも大きな柱です。町の対応について

問 安心安全な町をキャッチフレーズに、移住を快く迎え入れる施策について町長の考

行っています。

②町内の金融機関と金融協議会を開催し、商工会と一緒に協議しており、提案の件につきましては金融協議会で協議したいと考えています。

③中小企業振興基本条例の具現化については、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入促進計画や、県と共同策定の地域未来投資促進法に依る計画は国から同意を得ており、該当企業は固定資産税の減免が受けられる支援体制を整えています。今後も必要な制度については検討し可能な限り支援を行います。

④事業後継者等との懇談は、提案された内容について、今後商工会と協議を行います。



あさひの 浅野 一志 議員

消雪パイプを使った打ち水は可能か

町長：過度な電力消費となるようなことは慎むべきもの

ここが聞きたい

一般質問



いけいけの 池井 豊 議員

佐野町長は堅実路線か？積極的な事業推進か？

町長：財政状況見極め、許す限り積極的な事業推進を図りたい

財政健全化にも別途、積極的な財政運営を！

問 財政健全化も目途がつき新規事業にも着手できるようなことになってきたと思えます。佐野町政は堅実路線（貯金重視）で行くのか。はたまた積極的な事業推進（借金してでも事業を行う）をしていくのかを尋ねます。

町長 町債償還額も減少傾向にあります。建設中の交流会館、道の駅関連事業、計画中の防災行政無線も起債事業として行うこととなるので、大きな財政負担となると思います。

堅実路線でいくのか、積極的な事業推進を行うのかとのことです。財政状況を見きわめながら、許す限り積極的に事業推進を図りたいと考えています。

移住者数を把握し、独自の移住者支援策を！

問 町における29年度の移住者数は何人になりますか。

新潟市の移住モデル地区では「住宅取得支援」「引越費用支援」が有ります。町長の移住者対策の考え方を具体的に聞かせてください。

また、「移住者を増加させるには地域の魅力づくりから」だと思っています。アイデアがあれば聞かせてください。

町長 新潟県の問合せには「当町では把握できない」と答えさせていただきました。

移住者対策としては、今のところ具体的な構想には至っておりませんが、町の魅力などを情報発信することで、移住を考えている方から町上町への移住が一つの選択肢として考えていただければと思っています。

消雪パイプを使った打ち水はいかに

問 暑かった夏もようやく終えようとしています。7月29日、上吉田のやすらぎ会（老人クラブ）の夏忘れが行われました。あまりの暑さに出席者から消雪パイプを使って打ち水をしたらどうかという案が出ました。

三条市では打ち水をしたという新聞記事が掲載されていますが、田上の場合はどうなのでしょう。町長の考えを尋ねます。

町長 消雪パイプの電気の使用契約は、毎年11月20日から3月19日までの4カ月間の融雪用契約となっています。基本的には夏場は使用できない契約となっています。

猛暑のときは各家庭や事業所でエアコン、扇風機等の使用により電力需要が最大となるので、できれば使用を避けてほしいということでした。

特にいまは、具体的なアイデアがありません。

ふるさと納税に関連する取り組みを積極的に！

問 町長のふるさと納税に対する考え方を聞かせてください。2番目として返礼率はどのくらいであるべきか伺います。3番目に町民の町へのふるさと納税は行われておりませんが必要と思われる。どのように考えますか。4番目に返礼品の開発は町の発展、農工商業者の売上増加に寄与する取り組みです。どのように展開していきますか。



▲田上町ふるさと納税ポスター

町長 ふるさと納税は、町の自主財源確保のための大切な手段であるとともに、返礼品が多くなれば、出品される方々の売り上げや町の特産品の紹介にもつながるなど有効なツールであると考えています。返礼率は総務省に指導に従ってまいります。町民の方からのふるさと納税については現在行われておりません。

返礼品の開発につきまして魅力ある品ぞろえのため、返礼品のリストは少しでも多く増やしたいと考えています。

三条市にも確認いたしました。今回の消雪パイプを活用した打ち水は、1カ所30分程度の散水で今回限りの実施ということでした。

したがって、各家庭が熱中症対策にエアコン等で電力を使用していますので、過度な電力消費となるようなことは慎むべきものと考えています。

小・中学校のホームページ

問 8月26日に小・中学校のホームページをのぞいてみました。平成28年度、29年度のランドデザインが掲載されています。

ホームページを運営していく中でその年度のものを表示していくべきだと思いますが、教育長の考えを尋ねます。

更新する時間がないというのであれば、教育委員会が手伝えることが考えられないでしょうか。所管事務調査

で配付されたような資料であれば、教育委員会のホームページなどで紹介してもいいのではないかと思います。これについても教育長に尋ねます。

あるいは、もっと使い勝手のよいホームページを作ってもよいのではないかと、いろいろに思いますが、いかがでしょうか。

教育長 ホームページの更新状態はご指摘のとおり学校によつては、あまり更新されていない部分がありました。

一番の原因は、担当する教職員が1年から3年間で変わってしまうことです。適切に掲載更新するように各学校に伝えましたので、現在はしっかりと更新されていると思っております。

なお、各学校の特色を活かしたホームページとなるように今後も各学校に指導していきます。



▲羽生田小学校ホームページ



▲田上小学校ホームページ



なかの かずみ
中野 和美 議員

再生可能エネルギーと学校2学期制導入を問う

町長：エネルギーは今後の研究課題
教育長：現時点では2学期制への移行は考えず

林の整備に繋がります。
田上町での個人または法人
に対する独自の再生可能エネ
ルギー等の設備導入支援制度
の現状とこれからの方向性を
尋ねます。

問 資源エネルギー庁でい
ろいろな再生可能エネルギー導
入制度を募集しています。こ
れは、民間が直接使えるもの
もありませんが、行政が関わっ
ていかなないと使えないものも
たくさんあります。固定資産
税の減額制度に伴い、その窓
口になっていただきたいので
す。導入制度をうまく利用し
て欲しいと考えています。
利用法の一つとして、道の
駅にバイオマスのボイラーを
使用し、湯田上温泉の足湯を
設け、疲れを癒してもらうス
ポットにすることも考えられ
ます。

ここが
聞きたい

一般質問



つばき かずはる
椿 一春 議員

ゴミの総量減少のため、分別方法の見直しも必要ではないか

町長：他の市町村と比べ、分類が少ないわけではない

問 第3回定例会の一般質問
で清掃センターの改修・新設
について町長の見解を聞きま
した。庁舎の3階に上がると
いつも見えるのは、清掃セン
ター脇のブルーシートで覆わ
れたゴミの山です。
他の市町村ではゴミを減ら
すため、ゴミ処理を有料化し
ているところがあります。
一時的には減りますが、決
して恒久的にゴミを減らすと
いう事にはなっていないよう
です。
ゴミの分別を、生ゴミ、燃
えるゴミ、燃えないゴミ、粗
大ゴミ、プラスチック、缶・
ペットボトル、古紙、有害危
険物と子供の教育という観点
からも8分類に細かく分類し
てはどうでしょうか。
町の条例では「再資源回収
事業補助金要綱」が制定され
ています。現状で、古紙と瓶
を回収した団体に補助金が支
払われています。

ゴミ処理について

再生可能エネルギー等の設備導入に関する支援制度について



▲資源エネルギー庁のホームページより

町長 残念ながら田上町にお
いては、町独自の再生可能エ
ネルギー設備の導入支援制度
はありません。再生エネルギ
ーに対する取り組み、これか
ら本当に大事なことでだろうと
認識しています。町が窓口にな
るといっても非常に大事
なことですので、十分その辺
は考えていきたく、町におい
ても将来的には取り組む必要
があると感じています。今後
の研究課題とさせていただきます
と思います。



▲清掃センター脇に積まれたゴミ

リサイクル区分に分類され
ているペットボトル・アルミ
缶・スチール缶も回収助成成
品目に加えて、リサイクル率を
上げてゴミの減量化をしては
どうでしょうか。
また、燃えるゴミはゴミと
して処分するのではなく、小
電力の火力発電所を作り、発
電の燃料にしてみてもどうで
しょうか。
以上の3点について尋ねま
す。

小・中学校の2学期制について

問 社会文教常任委員会の所
管事務調査で田上中、田上小、
羽生田小の校長先生から話を
聞きました。その中で2学期
制についての話があり、2学
期制のメリット、デメリット
をふまえ、教育現場と子ども
たちのために何が大切で何を
優先すべきなのか、協議する
時が来ていると考えます。
また、部活動を顧問の先生
の時間外労働の負担で成り立
たせるわけにはいかず、アド
バイザリ的なコーチなどの仕
組みづくりも必要なのではな
いでしょうか。
新しいものを取り入れるの
は大変労力を要しますが、先
陣を切っている市町村の事例
を参考にし、検討していただ
きたいと思います。
教育長の考えを尋ねます。

町長 分別については、燃え
るゴミの1種類、燃えないゴ
ミとしては廃家電、鉄類、ガ
ラス、セトモノ類と特定5品
目のうち水銀含有の電池、蛍
光管などの5種類で、リサイ
クル品としては古紙の4種類
とペットボトル、瓶の7種類
であり、回収対象外の粗大ゴ
ミを合わせると14種類で、他
の市町村と比較して極端に少
ないという状況ではありませ
ん。
また、再資源回収事業補助
金の対象品目を増やしてはど
うかとの質問ですが、スチー
ル缶については買い取り価格
が安価で値段がつかない場合
が多いことや、その時々の取
引相場で逆に引き取り料の支
払いが発生することがありま
す。アルミ缶は買い取り価格
が高価であることから、現在
町内で数団体が回収を実施し
ています。ペットボトルにつ
いては、近隣に小規模な量の
引き取りを行う事業者があり
ません。以上の点から、今す

2学期制のメリット	
・授業の進度にゆとりができる	
・教師の負担軽減	
・業務時間の分配の工夫にもつながる	
・7月や12月に学校行事や体験学習を取り入れやすい	
2学期制のデメリット	
・子どもの学習の遅れの確認がおそくなる	
・学校の生活リズムにメリハリがつきにくい	

いますが、現時点では2学期
制への移行は考えておりませ
ん。しかし、今後もいろいろ
な意見を参考とさせていただきます
たいと思っております。
教員の多忙化解消について
いろいろお考えいただき、あ
りがとうございます。



▲ゴミ分別の例

ぐに助成品目を増やすことは
考えていません。
ゴミ焼却の際の余剰エネル
ギーの活用については、今後
の大規模改修あるいは、施設
の新設などの際に参考とさ
せていただきます。いずれに
しても加茂市・田上町消防衛
生保育組合で最終的に議論さ
れる問題であると考えていま
す。

総務産経常任委員会

所管事務調査

期日 平成30年8月23日

【産業振興課】

サル被害調査

6月22日にサルの群れが確認され、捕獲を新潟県猟友会加茂支部田上分会に依頼し、6月25日から捕獲箱7台を設置し、午前・午後のパトロールを行なってきました。

桃の収穫期を迎える7月に入り10日に、町産業振興課、JAにいがた南蒲、中越農業共済組合、猟友会、鳶ヶ沢桃生産組合関係者で対策を協議し、11日から町産業振興課、JAにいがた南蒲、中越農業共済組合の三者で輪番によるパトロールを行なっているとのことです。

なお、6月22日から7月11日までは町産業振興課で、土日を除くほぼ毎日のパトロールを行なっていました。

8月10日以降サルの出現

は、確認されておらず、群れは移動したと思われるが、捕獲箱の設置許可が11月30日までのため、今後も捕獲箱の設置、定期パトロールを行っていきます。

本年度水稻の生育状況調査

本年度の水稻の生育状況は、4月から7月までの期間中は気温、日照ともに平年を上回り順調な生育でした。梅雨明け後の、高温・少雨の影響により、稲穂の白未熟粒やどう割れ粒の発生が多くなり、品質が低下し、昨年29年度を下回り、22年度と同レベルの品質の低下の恐れがあるとのことです。

【地域整備課】

工事状況の調査

新田堀河川改良工事の内容は、施工延長85m、排水フリーウム布設、ボックスカルバート設置、U型側溝布設、道路面の嵩上げ40cm、舗装などです。

原ヶ崎河川改良工事の内容は、施工延長111m、排水フリーウム布設、U型側溝布設替え、舗装などです。

両工事ともに、大雨の際に路面が冠水する箇所を河川改良工事で、8月6日の大雨の時には路面は冠水せず、一時間雨量50mmの雨でも大丈夫とのことです。

川船河・西9号線舗装補修工事の内容は、施工延長163m、路盤工、舗装工です。この道路は、もともとが農道であったため、路盤やアスファルトの厚みが薄くアスファルトがひび割れていたため、今回の工事で路盤の改良がおこなわれ、舗装の厚みも50cmになりました。

委員長 高取 正人



▲舗装補修後の川船河・西9号線



▲改良された新田堀

社会文教常任委員会 所管事務調査

期日 平成30年8月24日

会場 田上中学校

出席者 小中3校の学校長

【教育委員会】

・学校の現況について

・中学校の空調設備を視察

田上小学校では、ジャンプアッププロジェクト「田上学」として、町の歴史や修学旅行先が会津若松方面であることから、東山温泉と湯田上温泉の比較など、多岐にわたって研究・勉強しているとのことでした。

羽生田小学校では、いじめや不登校はなく、それは介助員の協力が大きいとのことでした。また、英語学習は、30年度から完全実施で授業が進められているとのことでした。

田上中学校では、校長先生自ら授業を見て回り、生徒たちとの交流を深めるなど、少



▲空調設備設置完了の音楽室

しでも不登校を増やさないよう努めているとのことでした。30年度に空調設備が設置された特別支援教室、音楽室の2教室を視察しました。教室は涼しく、生徒、先生から大変喜んでいらっしゃるの話をいただきました。

委員長 松原 良彦

- Check 議論の中心
- Q 小学校では、英語の授業が低学年では新たに年間35時間、高学年でこれまでの2倍の70時間に増えました。その勉強の様子などは？
- A これまでの授業体系にこの時間数を組み入れることは、難しい調整でしたが、ALT（外国語指導助手）や担当教員が工夫して、英語授業が楽しくなるよう進めています。
- Q 教職員の時間外の実態や、超過勤務が児童へ及ぼす影響などは？
- A 実態は、部活動等終了後、各自の仕事をするため、休日出勤も含めてかなりの教職員が超過勤務をしています。対策としては、教職員の増員しかないと思います。

議会からのお知らせ

議会会議録をホームページに掲載します

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。

各定例会の約3か月後に公開となりますのでご了承ください。

田上町ホームページ <http://www.town.tagami.niigata.jp/> TOP → 田上町議会 → 会議録

三条地域水道用水供給企業団議会

第2回定例会

期日 平成30年7月30日
場所 三条地域水道用水供給企業団事務所

当町および三条市の議会議員選挙があり、企業団議員も改選され、議席の指定や議長選挙が行われ、議長には三条市の横山一雄市議が当選されました。

提出された議案は2件で、議会選出の監査委員には高取正人町議が全会一致で同意されました。

29年度利益剰余金は、資本的収支の不足額に充当されました。29年度水道用水供給事業会計決算の認定は、収益的収支の収入額12億9119万9千円、支出額9億5303万7千円、資本的収支の収入額11億2327万円、支出額17億2433万9千円で、原

案どおり全会一致で認定されました。

新潟県後期高齢者医療広域連合

8月定例会

期日 平成30年9月1日
場所 新潟県自治会館

条例の一部改正では、高齢者の医療の確保に関する法律施行令の改正が行われ、引用する条項整理を行うための改正です。

29年度一般会計歳入11億4838万1千円、歳出10億2420万6千円、差引1億2417万5千円です。この差額は、30年度に繰り越して共通経費負担金の減額や、国庫補助金の返還などに充当します。

29年度特別会計歳入

組合議員 高取 正人
渡邊 勝衛
藤田 直一

2696億4799万6千円、歳出2646億8422万6千円、差引49億6377万円は、30年度に繰り越して、国県負担金等の返還により精算します。

30年度広域連合一般会計補正予算は、4千円を追加し、29年度の国庫補助金事業の実績に基づき経費などを補正するものです。

30年度広域連合特別会計補正予算は、50億8671万3千円を追加し、29年度保険給付費等の実績に基づき、各種負担金等の経費を補正するものです。

5議案は採決の結果いずれも原案認定、可決しました。

広域連合議員 松原 良彦

第21回交流会館等建設調査特別委員会

交流会館の外装について

期日 平成30年9月10日

外装の色について委員会の参考意見を聞きたいとのことでした。

役場庁舎等、周辺の建物と調和する外装とすることを基本に、設計者に委ねることとしました。

工事の進捗状況は、8月末現在24・1%で、31年7月末竣工の予定になっています。

委員長 小池 真一郎

全員協議会

期日 平成30年8月10日

防災行政無線の導入

29年度の財政計画に盛り込まれていたこの計画について、町民に対し緊急時の気象情報や災害情報を迅速に伝達し、平常時は広報などの情報伝達にも活用する計画で、親局（役場）から無線により子局（屋外スピーカー）へ一斉放送を行う同報系と言われる方式を検討しているとの説明がありました。

屋外スピーカー（子局）は高さ15m、音達範囲330m、4方向のスピーカーを町内39カ所に設置予定との概略計画です。

概算事業費は、ランニングコストを除き2億3000万円、全額国の起債事業として認められ、そのうち70%は

交付税で措置される事業です。質疑の中で、世帯ごとの戸別受信機の設置やFM放送を利用した緊急告知ラジオの利用などの整備手法もあるので、経費の比較も含め、再度検討することになりました。

期日 平成30年9月10日

8月に説明された防災行政無線の導入について、課題となっていた整備手法の経費などを含め、利用可能と思われる5種類のシステムについて比較検討が示されました。

①デジタル防災行政無線（当初、示されたシステムで、町専用の周波数により屋外スピーカーで放送を行う）

②MCA無線（通信事業者が運営する無線設備を一般利用者と共同利用する。タクシー等の無線）

③IP無線（携帯電話の無線設備を一般利用者と共用する）

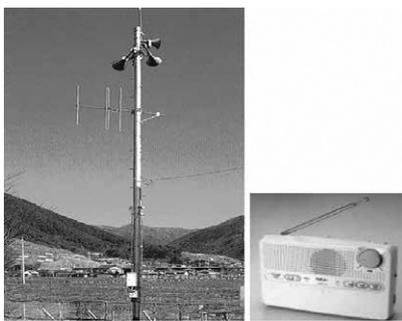
④280MHz同報無線（事

業者が開発した独自の無線システム、ポケベルの仕組みを利用した放送システム）

⑤緊急告知ラジオ（運用中のラジオ局を利用し、緊急情報を伝達する）

多面性、確実性、運用性、コスト、初期経費、維持費等を評価した結果、①デジタル防災行政無線を採用したいとの説明でしたが、ラジオや防災行政無線で戸別受信機を設置すると、国の起債事業はどうなるのか等の質疑があり、経費の検討を改めて行うことになりました。

議長 熊倉 正治



▲防災行政無線（屋外スピーカーと戸別受信機）の一例

議会からのお知らせ

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月6日（木）からの予定です。
請願は11月30日（金）までに提出されたものを
12月定例会で審議します。



今回は、築百周年を迎えた椿寿荘の樋浦館長にお話を伺いました。



▲ 樋浦館長

原田巻家は江戸末期、およそ千三百町歩、小作人二千八百人近くを抱えていました。一八九七年、原田巻家当主が、当時日本三大名人の一人と言われた富山・井波の宮大工、松井角平に依頼して建てた離れ座敷が椿寿荘です。大正三年に着工し、三年半かけて大正七年（一九一八年）に完成しました。今年完成してから百年目にあたります。

建物は、ヒノキを使った重厚な寺院様式で、釘類を使用しないで建てたと言われています。目を引くのは、随所に使われている銘木です。樹齢八百年以上の会津ケヤキをふんだんに使った玄関と露縁。クスノキの一枚板に菊を透かし彫りした欄間。圧巻は露縁のひさしのけたに使われた約二十メートルの節ひとつない天然絞りの吉野杉。船に見立てた奥の間は高床式で、優雅に枯山水の庭園を眺められます。庭には石組みの五重塔があり、仏教世界観の中心にそびえる山「須弥山」を表現しています。四季折々美しい庭園です。

今年には築百周年にあたり、町より補助金をいただき、「原田巻家母屋と椿寿荘の同時見学会」「建造物としての椿寿荘に関する講演会」など、いろいろなイベントを企画、実施することができ、多くの皆様方から参加をいただいております。近年は入館者が七、八千人前後でし

たが、一昨年度は六千人台にまで減少しました。しかし、昨年度は十一月に五千四百人余の入館者があり、年間で約一万一千人と急増しました。

紅葉時期の入館者の維持と年間を通して安定的な入館が見込まれるよう「椿寿荘便り」（公式ブログ）の継続的な更新等、情報発信に努めてまいりたいと思っています。

今後、町には短期的・長期的な修理、保存計画を具体的に立て、田上町の貴重な文化財「椿寿荘」をいつまでも後世に遺していただきたいと思っています。



▲ 椿寿荘（丸桁と庭園）

編集後記

今年、椿寿荘築百周年ということで、椿寿荘館長に議会だより掲載をお願いしました。快く引き受けていただき、ありがとうございました。

貴重な文化遺産を残していたいただいた先人の方々に、敬意を表しますと共に、その時の時代背景や歴史も伝わってまいります。様々なイベントが催されるうちには、松井建設様より、椿寿荘の建物の造りや現状についてのお話も伺えました。

議会でも貴重な文化遺産と捉え、注視しております。今後も、多くの方が訪れてくださいますことを願っています。

（中野 記）

- 委員長 浅野 一志
- 副委員長 高取 正人
- 委員 松原 良彦
- 委員 中野 和美
- 委員 渡邊 勝衛
- 委員 小嶋 謙一
- 委員 藤田 直一